

令和6年度滋賀県農林水産表彰 被表彰者一覧

【功労賞】

整理番号 種別	部門	ふりがな 氏名	年齢 (年数)	住所 (市町まで)	主な功績等	表彰式出欠
個人	農業	なかじま よしとむ 中島 由富	66	草津市	パイプハウス25棟でほうれんそうなどの軟弱野菜やメロン、春ダイコンなどを栽培している。堆肥による土づくりや高温対策として高温抑制型パイプハウスを先駆けて導入するなど、技術力は高く、市場出荷を中心に「J」直売品目のブランド「草津メロン」にも取り組み、経営の安定化を図っている。 また、指導農業者として農大生の研修の受け入れや草津市内の新規就農者に対し助言を行い、新規就農者の定着を支援した。 収穫体験イベントにも協力し、消費者の農業への理解を深め、産地の認知向上と滋賀県産野菜の消費拡大にも貢献している。	本人出席
個人	農業	あずま そうじ 東 宗司	75	甲賀市	市場出荷者を中心とした「J」Aこうかいちじく生産部会」の設立に尽力し、部会長も務めた。東氏が積極的に環境こだわり農作物の栽培に取り組みられた影響で部会員のほとんどが環境こだわり農産物認証を受けている。 また、雨よけのためにビニールの屋根を付けることで、収穫期の降雨による裂果や病気の発生を軽減する「簡易雨よけ施設」を地域でいち早く導入し、高品質な果実生産に精力的に取り組んでおり、その旨得した栽培技術を伝授するなど新たな部会員確保にも貢献している。 さらに、令和4年度に滋賀県果樹品評会で滋賀県果樹組合連合会会長賞を受賞するなど、果実品質への評価は高く、現在でも果実品質の向上に向け研鑽を続けるとともに、部会の発展のために尽力している。	本人出席
個人	農業	しばた ゆきひろ 柴田 幸弘	67	彦根市	魚のゆりかご水田米等の生産に意欲的に取り組み、環境に配慮した農業の推進に尽力している。 また、環境こだわり農産物の生産には認証制度が発定した平成13年当時から意欲的に取り組み、令和5年度の水稲作付面積の約8割で認証を取得している。 さらに、米の高品質・良食味生産にける熟意や取組、功績は、米の付加価値を高め経営の安定につながるものでもあり、他の模範となっている。 これらの経験を生かし、県指導農業者を16年間務め、青年農業者等次世代の育成に尽力している。	本人出席
団体	農業	たかはしちょうえいのう くみあい 高橋町営農組合	24	長浜市	大豆と大麦の種子生産に取り組み、徹底した農場管理とその技術水準を維持するための工夫、さらにこれらの技術を若手に引き継ぐ活動を通して、優良種子の安定生産に取り組み、本県の集落営農組織ではトップレベルの収量性を誇っている。 また、世代をつなぐ農村まるごと保全活動を通じた集落の景観形成や世代間交流を実施し、世代間、住民相互の交流を深めている。 さらに、県内外の研修会で講師を務め、視察受け入れを行うなど、大豆の生産振興に貢献している。令和6年度から水稲の一部で有機的管理を行うなど、高度な環境保全型農業の取組を行っている。	本人出席
個人	農業	くまがい けんいち 熊谷 健一	67	高島市	経営面積2haで水稲と野菜の複合経営で就農後、熱心かつ丁寧な栽培管理により、地域農業者の信頼を獲得し、約44haにまで拡大した。 条件が悪いほ場であっても断ることもなく受託し、耕作放棄地の発生防止に貢献した。 耕畜連携や環境こだわり農業に地域でいち早く取り組み、地域の農業者組織設立やその後の運営、特に若い農業者への積極的な指導に尽力し、地域農業の発展に大きく貢献している。 また、滋賀県指導農業者協会、高島指導農業者会を要職を歴任し、担い手育成に係る指導体制の充実と指導農業者の資質向上に大きく貢献している。	本人出席
個人	水産	よしだ まもる 吉田 守	78	大津市	平成6年より瀬田町漁業協同組合の監事として9年間、平成15年より代表理事組合長として21年間の長きにわたり、組合運営および組合員の指導育成に尽力した。 漁業のかたわら漁業人材育成事業において良良さ網漁を中心に体験研修の指導者として担い手の育成に当たっており、2名が組合に加入している。 瀬田町漁業協同組合ではセタジミの組合直販を実施しており、さらに瀬田川流域の漁業従事者、瀬田川利用団体、環境保全に積極的に取り組む市民団体により構成された「セタジミ祭実行委員会」の代表として長年セタジミ祭を開催するなど、琵琶湖の固有種であるセタジミの販路拡大・普及啓発に多大な尽力をした。 また、滋賀県森林組合連合会の役員も歴任し、県下の森林整備の推進に尽力した。 さらに、林業分野への障害者の参画を支援する福祉作業所（NPO法人）を運営し、林福連携の推進により誰もが生きがいを持って参画できる林業を推進した。	本人出席

【奨励賞】

整理番号 種別	部門	ふりがな 氏名	年齢 (年数)	住所 (市町まで)	主な功績等	表彰式出欠
個人	農業	おのдера まさき 小野寺 真樹	39	大津市	イチゴで新規就農し、丁寧な栽培管理により初年度から県の推奨する目標収量を超え、年々収量は向上している。増棟を経て、更なる収量向上を目指し、暖房機の導入やCO2局所施用を行い、「みおしずく」で県内トップクラスの5.8t/10aを達成した。また、化学合成農薬の使用量削減にも取り組んでいる。 自分で販路を確保する一方、みおしずくを継続的に市場出荷し、みおしずくのブランド化にも貢献している。 大津地域の青年農業者クラブに所属し、ホテルと大津市農産物の利用推進や規格外品の有効利用に取り組んでいる。 県内小学校の授業の受け入れや新規就農希望者の研修を1年間行い就農の支援も行った。	本人出席
個人	農業	なかい まさのり 中井 勝利	38	近江八幡市	非農家ながらも地元集落営農のオペレーターとして活動し、就農時の農地確保につながった。就農以降もオペレーターとして参加し、集落営農の担い手としても期待されている。 イチゴは有機質肥料での栽培、農薬の最小化、温度管理にこだわり、消費者のニーズにあったイチゴ品種を生産している。 イチゴのおいしさや楽しさを消費者にアピールすることで顧客確保、拡大につながり、消費者や製菓店等への直売のみで売り切っている。 売り上げは就農4年目で5年目標の1.4倍と早期の経営安定を実現した。	本人出席
個人	農業	おかもと みずき 岡本 瑞希	30	高島市	県立農業大学校就農科で施設イチゴを学び、令和2年3月に就農された。 県北部の冬の厳しい寒さの中、様々な創意工夫をされ、食味の良いイチゴを生産されるだけでなく、極力農薬を使用しない栽培に取り組んでいる。 学生の視察研修や就農希望者の見学受け入れ、助言なども行い、担い手育成に尽力している。 就農3年目には地元の農業組合の役員になり、集落の「魚のゆりかご水田プロジェクト」のイベントでは参加者にイチゴを提供し、好評を博すなど、地域振興にも取り組んでいる。	本人出席

※ 年齢は、基準日（R6/4/1）現在